

仕様表
HWC-H7001H11

空気熱源式熱源機（空気熱源加熱専用機）

標準タイプ

電源配線キット（別売部品）を使用しない場合

7.0kWモジュール×11台													
加熱能力 ^(注1) (kW)		770			ポンプ仕様	標準		ポンプキット付（別売部品）					
外形寸法	塗装色		シルキーシェード(マンセル1Y8.5/0.5)			定格出力 (kW)	-	0.4x11	0.75x11	1.5x11	2.2x11		
	高さ (mm)	2300				形式	-	ラインポンプ					
	幅 (mm)	12380				始動方式	-	インバータ始動					
奥行 (mm)	2070			最大運転電流 (A)		-	2.2x11	3.4x11	6.5x11	8.8x11			
製品質量 (kg)	9680			最大消費電力 (kW)		-	0.6x11	1.0x11	1.9x11	2.6x11			
運転質量 (kg)	9845			電源配線接続箇所		各モジュール内電源接続端子台(M10)							
電気特性 ^(注1)	電源 ^(注1,2)		3相 200V 50/60Hz			基準電流 ^(注14) (A)		129x11	131.2x11	132.4x11	135.5x11	137.8x11	
	外気温条件	中間期(定格)		夏期		冬期	電源容量 ^(注15) (kVA)						
		ΔT=7°C	運転電流 (A)	815		719	898	49.2x11	50.0x11	50.5x11	51.6x11	52.5x11	
		消費電力 (kW)	248	217	276	電源配線	IV線	こう長20m以下 (mm ²)	撚線60 x 11				
	力率 (%)	88	87	89	こう長50m以下 (mm ²)			撚線60 x 11					
	ΔT=48°C	運転電流 (A)	676	568	767	CV線	こう長20m以下 (mm ²)	撚線38 x 11					
		消費電力 (kW)	210	175	240		こう長50m以下 (mm ²)	撚線60 x 11					
		力率 (%)	90	89	90	アース線太さ (mm ²)		撚線8.0 x 11					
	冷媒	種類		R134a	R410A	手元スイッチ (A)		200 x 11					
		封入量 (kg)	6.0 x 22		5.5 x 22	電源ヒューズ (A)		150 x 11					
制御方式		電子膨張弁		電子膨張弁	漏電遮断器容量 (A)		150 x 11						
圧縮機	形式		全密閉ロータリー式	全密閉ロータリー式	漏電遮断器感度電流 (mA)		200 x 11						
	電動機出力 (kW)		9.25 x 22		(注1) 能力・電気特性および標準流量は、下記条件時の値です。								
	始動方式		インバータ始動		JRA4060 業務用ヒートポンプ給湯器の給湯性能温度条件より								
クランクケースヒータ (W)		75 x 22		中間期貯湯/保温加熱条件 外気温: 16°CDB、12°CWB									
空気熱交換器		プレートフィンコイル											
カスケード熱交換器		プレート式(SUS316相当)											
送風装置	送風機		プロペラファン										
	風量 (m ³ /min)		5170 (最大値)										
	始動方式		インバータ始動										
電動機 (kW)		1.0 x 22											
温水	水熱交換器		プレート式(SUS316相当)										
	水圧損失 ^(注8)	ΔT=7°C (kPa)	123										
		ΔT=48°C (kPa)	3										
	標準流量 ^(注1)	ΔT=7°C (L/min)	1577										
ΔT=48°C (L/min)		229.9											
流量範囲 ^(注5)	736 (11.8) ~ 1980												
系内最小保有水量 ^(注6) (L)	5412												
容量制御 ^(注7) (%)	0-14~100												
運転調整装置		マイコンコントローラによる 温水温度制御および流量制御											
使用範囲 ^(注9)	温水出口温度 (°C)		50 ~ 90										
	外気温度 (°C)		-25 ~ 43 DB										
保護装置	高圧スイッチ、過電流保護、インバータ過負荷保護(圧縮機、ファン、ポンプ)、クランクケースヒータ、欠相保護、マイコンコントローラ(圧縮機タイムガード、凍結防止、高温水防止、吐出温度、低圧保護、センサ異常)												
配管口径	温水入口 ^(注9) (A)		32フランジ x 11 (JIS10K)										
	温水出口 ^(注9) (A)		32フランジ x 11 (JIS10K)										
	コイルドレン口 (A)		PT40オネジ x 11										
騒音値 ^(注10) (測定位置: 距離1.0m、高さ1.5m)	コントロールボックス側		68.0(70.6)										
	空気熱交換器側		71.7(74.5)										
	水配管側		71.9(76.4)										
法定冷凍トン (トン)	3.56 x 11												
高圧ガス保安法手続区分	不要(対象外)												
備考	必須別売部品		モジュールコントローラ(MC)										

(注15) 変圧器や発電機を選定する際には、インバータによる高調波電流の発生に伴う損失を考慮した容量を選定する必要があります。高調波電流の発生に伴う損失を考慮した必要な容量については、変圧器や発電機のメーカーへご確認ください。

(注1) 能力・電気特性および標準流量は、下記条件時の値です。
JRA4060 業務用ヒートポンプ給湯器の給湯性能温度条件より
中間期貯湯/保温加熱条件 外気温: 16°CDB、12°CWB
夏期貯湯/保温加熱条件 外気温: 25°CDB、21°CWB
冬期貯湯/保温加熱条件 外気温: 7°CDB、6°CWB
ΔT: 温水入出口温度差
ΔT=7°C: 温水入口 58°C/出口 65°C (循環式)
ΔT=48°C: 温水入口 17°C/出口 65°C (一過式)
(注2) 外形寸法には水配管接続部、ユニット固定部などの突出分は含まれていません。
(注3) 電源電圧は変動があった場合でも、±10%を超えないようにし、電源電圧間の不平衡は2%以内としてください。
(注4) 水回路常用圧力: 0.98MPa以下 (ポンプキット組込の場合: 0.7MPa以下)
(注5) ()内は、ポンプキット(別売部品)を使用する場合の値です。一過式の場合は、ポンプキットが必須となります。水圧損失は、ポンプキットを使用しない場合です。ポンプキットを使用する場合の機外揚程は、ポンプサイズによって異なります。
(注6) 保有水量の計算は、バイパス経路等も考慮した配管流路で最も水量が少なくなる部分で計算してください。表中の保有水量は、水入出口設計温度差7°Cの場合の値です。
(注7) 運転条件により、容量制御範囲は異なります。
(注8) ポンプキットを使用しない場合、プルアップ時など熱源機始動時の温水入口温度が使用範囲(循環式下限35°C)を下回る状態での運転において、最大加熱能力が水温に応じて低下するため、系統内の水温上昇に時間を要する場合があります。必要に応じて、温水配管系統内に三方弁によるバイパス等を設けてください。
(注9) 水質基準項目および基準値については、日本冷凍空調工業会“冷凍空調機器用水質ガイドライン”(JRA-GL-02-1994)を満足してください。
(注10) 騒音値は反射音の少ない場所で測定したものです。実際の据付状態では、周囲の騒音や反射の影響を受け、表示値より大きくなります。()内は、ポンプキット(別売部品)を使用する場合の値です。
(注11) ポンプキット(別売部品)を使用する場合は、機外揚程に応じて出力を変更することができます。
(注12) 最大流量(1モジュール当たり)においてポンプが最大周波数60Hzで運転した時の値です。
(注13) 漏電遮断器は必ず設置してください。本機はインバータ装置を有していますので、誤動作防止のために高調波対応品を使用してください。
(注14) 基準電流は電源電圧間の不平衡2%を考慮した値となっています。

東芝キャリア株式会社

S30UQA020-2-11B

仕様表 HWC-H7001H11

空気熱源式熱源機（空気熱源加熱専用機）

標準タイプ

電源配線キット（別売部品）を使用する場合

7.0kWモジュール×11台										
加	熱 能 力 (注1) (kW)		770							
	塗 装 色		シルキーシェード(マンセル1Y8.5/0.5)							
外 観	外形寸法	高 さ (mm)	2300							
		幅 (注2) (mm)	12380							
		奥 行 (注2) (mm)	2070							
製 品 質 量 (kg)		9680								
運 転 質 量 (kg)		9845								
電 源 設 計	電 源 (注1,3)		3相 200V 50/60Hz							
	外 気 温 度 条 件		中間期(定格)	夏期	冬期					
	性 能	ΔT=7°C	運 転 電 流 (A)	815	719	898				
			消 費 電 力 (kW)	248	217	276				
			力 率 (%)	88	87	89				
	性 能	ΔT=48°C	運 転 電 流 (A)	676	568	767				
			消 費 電 力 (kW)	210	175	240				
			力 率 (%)	90	89	90				
	冷 媒	種 類	R134a	R410A						
		封 入 量 (kg)	6.0 x 22	5.5 x 22						
制 御 方 式		電子膨張弁								
圧 縮 機	形 式	全密閉ロータリー式		全密閉ロータリー式						
	電 動 機 出 力 (kW)	9.25 x 22		9.25 x 22						
	始 動 方 式	インバータ始動		インバータ始動						
クランクケースヒータ (W)		75 x 22		75 x 22						
空 気 熱 交 換 器		プレートフィンコイル								
カ ス ケ ード 熱 交 換 器		プレート式(SUS316相当)								
送 風 装 置	送 風 機		プロベラファン							
	風 量 (m³/min)		5170 (最大値)							
	始 動 方 式		インバータ始動							
電 動 機 出 力 (kW)		1.0 x 22								
水	水 熱 交 換 器		プレート式(SUS316相当)							
	水 圧 損 失 (注5) (kPa)	ΔT=7°C	123							
		ΔT=48°C	3							
	標 準 流 量 (注1) (L/min)	ΔT=7°C	1577							
		ΔT=48°C	229.9							
流 量 範 圍 (注5) (L/min)	736(11.8) ~ 1980									
系 内 最 小 保 有 水 量 (注6) (L)		5412								
容 量 制 御 (注7) (%)		0~14~100								
運 転 調 整 装 置		マイコンコントローラによる 温水温度制御および流量制御								
使 用 範 圍 (注8)	温 水 出 口 温 度 (°C)		50 ~ 90							
	外 気 温 度 (°C)		-25 ~ 43 DB							
保 護 装 置		高圧スイッチ、過電流保護、インバータ過負荷保護(圧縮機、ファン、ポンプ)、 クランクケースヒータ、欠相保護、マイコンコントローラ(圧縮機タイムガード、 凍結防止、高温水防止、吐出温度、低圧保護、センサ異常)								
配 管 口 径	温 水 入 口 (注9) (A)		32フランジ	x	11 (JIS10K)					
	温 水 出 口 (注9) (A)		32フランジ	x	11 (JIS10K)					
	コ イ ル ド レ ン 口 (A)		PT40オネジ	x	11					
騒 音 値 (注10) (測定位置: 距離1.0m、 高さ1.5m)	コ ン ト ロ ー ル ボ ッ ク ス 側		68.0(70.6)							
	空 気 熱 交 換 器 側		71.7(74.5)							
	水 配 管 側		71.9(76.4)							
法 定 冷 凍 ト ン (トン)		3.56 x 11								
高 圧 ガ ス 保 安 法 手 続 区 分		不要(対象外)								
備 考		必 須 別 売 部 品 モジュールコントローラ(MC)								

(注16) 変圧器や発電機を選定する際には、インバータによる高調波電流の発生に伴う損失を考慮した容量を選定する必要があります。高調波電流の発生に伴う損失を考慮した必要な容量については、変圧器や発電機のメーカーへご確認ください。

ボ ン プ キ ャ ッ ト 付 (別売部品)	標準		電源配線キット			
	0.4x11	0.75x11	1.5x11	2.2x11	3.4x11	6.5x11
定 格 出 力 (kW)	-	-	-	-	-	-
形 式	-	-	ラインポンプ			
始 動 方 式	-	-	インバータ始動			
最 大 運 転 電 流 (A)	-	2.2x11	3.4x11	6.5x11	8.8x11	
最 大 消 費 電 力 (kW)	-	0.6x11	1.0x11	1.9x11	2.6x11	
電 源 配 線 接 続 箇 所		電源配線キットターミナルブロック(M16)				
基 準 電 流 (注14) (A)		1419	1444	1457	1491	1516
電 源 容 量 (注16) (kVA)		540.7	550.2	555.2	568.1	577.7
電 源 配 線 (注15)	IV線	こ う 長 20m 以 下 (mm²)	燃 線 150, 250x3			
		こ う 長 50m 以 下 (mm²)	燃 線 150, 250x3			
	CV線	こ う 長 20m 以 下 (mm²)	燃 線 100, 150x3			
		こ う 長 50m 以 下 (mm²)	燃 線 100, 150x3			
ア ー ス 線 太 さ (mm²)		燃 線 22x4		燃 線 22, 38x3		
手 元 ス イ ッ チ (A)		300, 400x3		300, 600x3		
電 源 ヒ ュ ー ズ (A)		300, 400x3		300, 500x3		
漏 電 遮 断 器 容 量 (A)		300, 400x3		300, 500x3		
漏 電 遮 断 器 感 度 電 流 (mA)		200, 500x3				

(注1) 能力・電気特性および標準流量は、下記条件時の値です。
 JRA4060 業務用ヒートポンプ給湯器の給湯性能温度条件より
 中間期貯湯/保温加熱条件 外気温度: 16°CDB, 12°CWB
 夏期貯湯/保温加熱条件 外気温度: 25°CDB, 21°CWB
 冬期貯湯/保温加熱条件 外気温度: 7°CDB, 6°CWB
 ΔT: 温水入出口温度差
 ΔT=7°C: 温水入口 58°C/出口 65°C (循環式)
 ΔT=48°C: 温水入口 17°C/出口 65°C (一過式)

(注2) 外形寸法には水配管接続部、ユニット固定部などの突出分は含まれていません。

(注3) 電源電圧は変動があった場合でも、±10%を超えないようにし、電源電圧間の不平衡は2%以内としてください。

(注4) 水回路常用圧力: 0.98MPa以下(ポンプキット組込の場合: 0.7MPa以下)

(注5) ()内は、ポンプキット(別売部品)を使用する場合の値です。
 一過式の場合は、ポンプキットが必須となります。
 水圧損失は、ポンプキットを使用しない場合です。ポンプキットを使用する場合の機外揚程は、ポンプサイズによって異なります。

(注6) 保有水量の計算は、バイパス経路等も考慮した配管流路で最も水量が少なくなる部分で計算してください。
 表中の保有水量は、水出入口設計温度差7°Cの場合の値です。

(注7) 運転条件により、容量制御範囲は異なります。

(注8) ポンプキットを使用しない場合、フルアップ時など熱源機始動時の温水入口温度が使用範囲(循環式下限35°C)を下回る状態での運転において、最大加熱能力が水温に応じて低下するため、系統内の水温上昇に時間を要する場合があります。必要に応じて、温水配管系統内に三方弁によるバイパス等を設けてください。

(注9) 水質基準項目および基準値については、日本冷凍空調工業会「冷凍空調機器用水質ガイドライン」(JRA-GL-02-1994)を満足してください。

(注10) 騒音値は反射音の少ない場所で測定したものです。実際の据付状態では周囲の騒音や反射の影響を受け、表示値より大きくなります。()内は、ポンプキット(別売部品)を使用する場合の値です。

(注11) ポンプキット(別売部品)を使用する場合は、機外揚程に応じて出力を変更することができます。

(注12) 最大流量(1モジュール当たり)においてポンプが最大周波数60Hzで運転した時の値です。

(注13) 漏電遮断器は必ず設置してください。本機はインバータ装置を有していますので、誤動作防止のために高調波対応品を使用してください。

(注14) 基準電流は電源電圧間の不平衡2%を考慮した値となっています。

(注15) 電源配線キットを使用する場合のターミナルブロックの個数の見方は以下のようになります。

例)

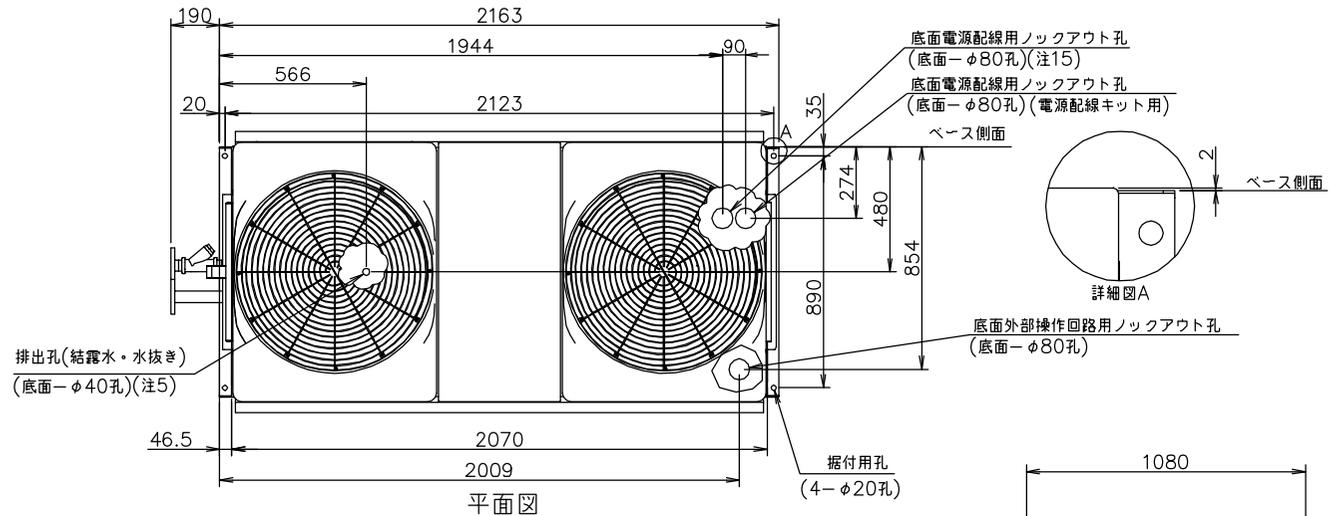
電 源 設 計	燃 線 (325+325) . 250 × 2
---------	-------------------------

 325mm²と250mm²のケーブル2本(1相あたり)での供給 → 1個
 250mm²のケーブル1本(1相あたり)での供給 → 2個
 ターミナルブロック数は3個となります。(ターミナルブロックの位置については電源配線キットの資料をご参照ください。)

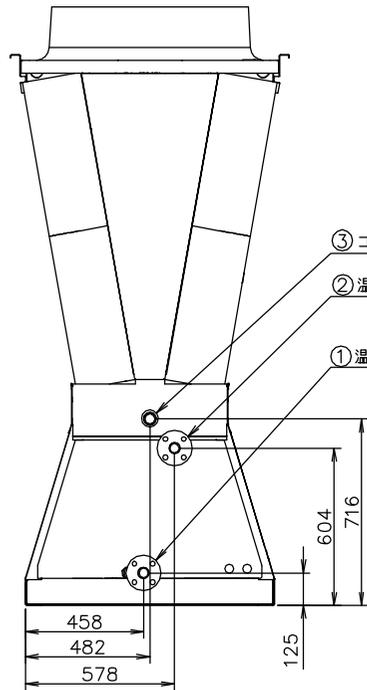
番号	名称	接続形状
1	温水入口	32Aフランジ
2	温水出口	32Aフランジ
3	コイルドレン配管接続口	PT40Aオネジ

番号	名称	材質
4	ストレーナ	ケーシング CAC406相当
5	水配管(入口)	JIS10Kパイプ SUS304相当
		配管 SUS304相当
6	水配管(出口)	JIS10Kパイプ SUS304相当
		配管 SUS304相当
7	水側熱交換器	プレート、接続部 SUS316相当
		ロウ材 純銅
8	ハウジング形管継手	ガスケット EPDM

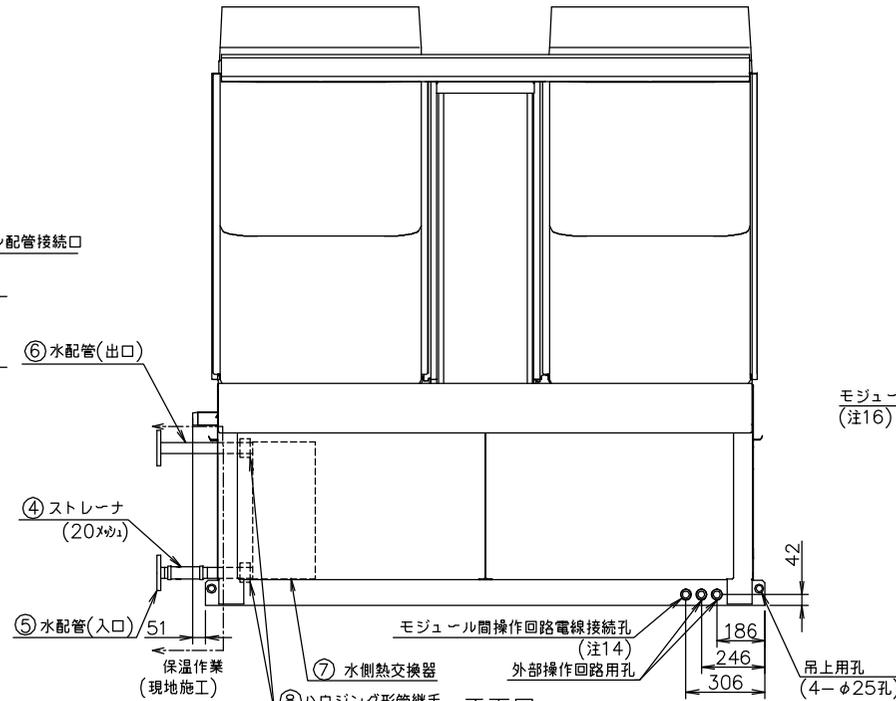
※換液部について記載しています。



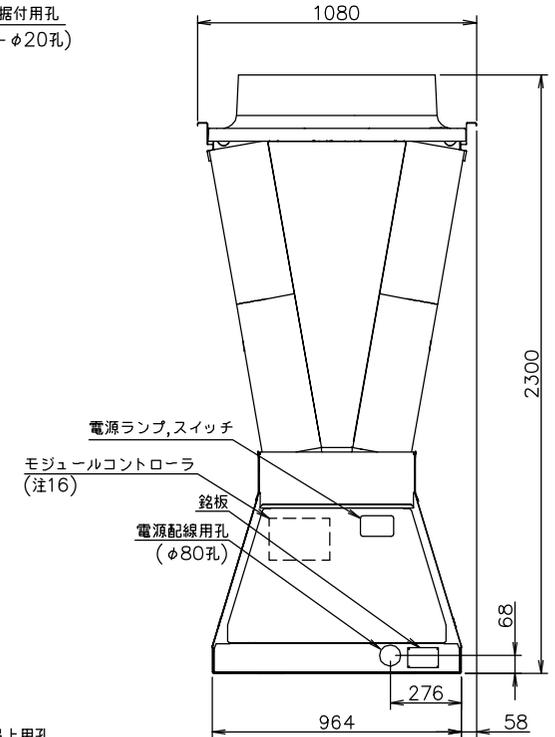
平面図



左側面図



正面図



右側面図

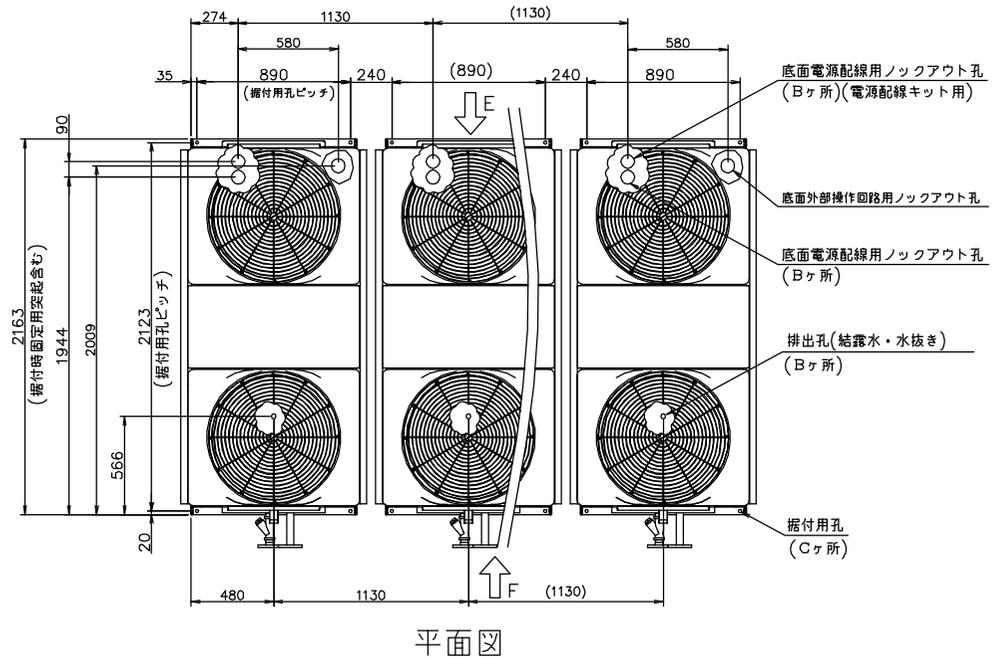
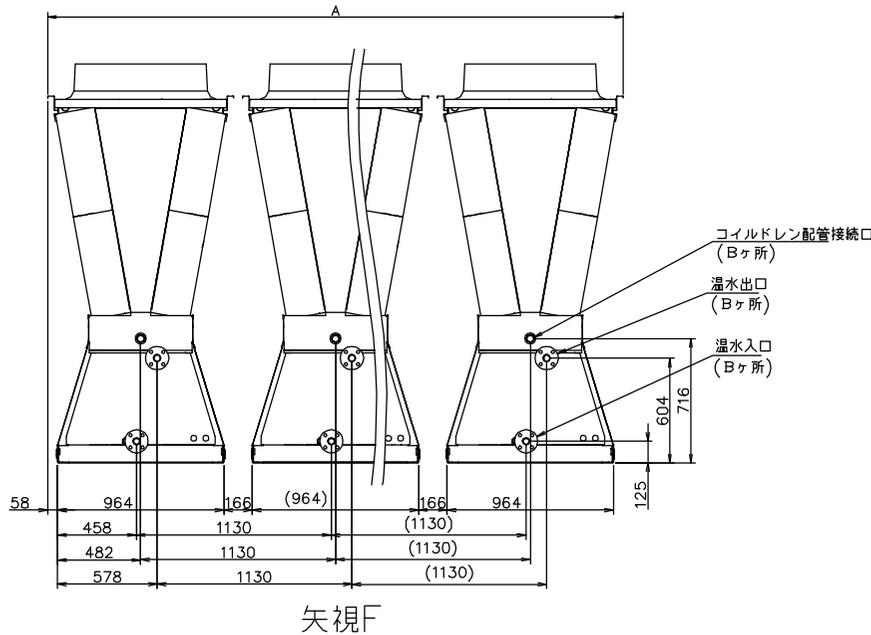
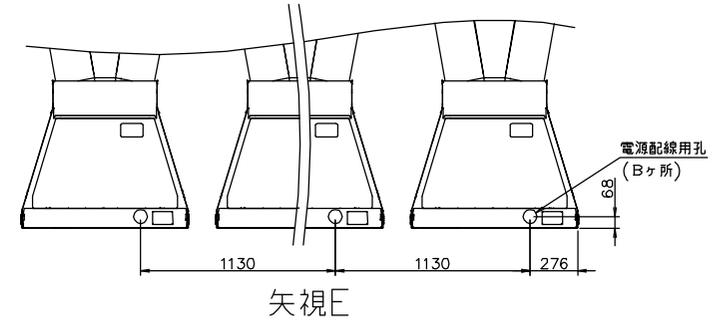
適用機種 HWC-H7001H(V)*	作成	照査	承認	JOB番号	品名	空冷式熱源機 外形図	尺度	1	
				納入先	左記		**		
				客先					
	日付			東芝キヤリア株式会社		図面番号	30UQA102-1	頁	1 / 3
						改版	-		

注1. 各機種構成モジュールを下表に示します。

機種名	構成モジュール x 台数
HWC-H7001H(V)1	HWC-H7001H(V) x 1台
HWC-H7001H(V)2	HWC-H7001H(V) x 2台
HWC-H7001H(V)3	HWC-H7001H(V) x 3台
HWC-H7001H(V)4	HWC-H7001H(V) x 4台
HWC-H7001H(V)5	HWC-H7001H(V) x 5台
HWC-H7001H(V)6	HWC-H7001H(V) x 6台
HWC-H7001H(V)7	HWC-H7001H(V) x 7台
HWC-H7001H(V)8	HWC-H7001H(V) x 8台
HWC-H7001H(V)9	HWC-H7001H(V) x 9台
HWC-H7001H(V)10	HWC-H7001H(V) x 10台
HWC-H7001H(V)11	HWC-H7001H(V) x 11台
HWC-H7001H(V)12	HWC-H7001H(V) x 12台
HWC-H7001H(V)13	HWC-H7001H(V) x 13台
HWC-H7001H(V)14	HWC-H7001H(V) x 14台
HWC-H7001H(V)15	HWC-H7001H(V) x 15台
HWC-H7001H(V)16	HWC-H7001H(V) x 16台

注2. 図中A, B, Cは以下の値になります。

機種名	A	B	C
HWC-H7001H(V)1	1080	1	4
HWC-H7001H(V)2	2210	2	8
HWC-H7001H(V)3	3340	3	12
HWC-H7001H(V)4	4470	4	16
HWC-H7001H(V)5	5600	5	20
HWC-H7001H(V)6	6730	6	24
HWC-H7001H(V)7	7860	7	28
HWC-H7001H(V)8	8990	8	32
HWC-H7001H(V)9	10120	9	36
HWC-H7001H(V)10	11250	10	40
HWC-H7001H(V)11	12380	11	44
HWC-H7001H(V)12	13510	12	48
HWC-H7001H(V)13	14640	13	52
HWC-H7001H(V)14	15770	14	56
HWC-H7001H(V)15	16900	15	60
HWC-H7001H(V)16	18030	16	64



注3. 別売部品の電源配線キットを使用する場合、電源配線キット取付時の寸法は、電源配線キット承諾資料を参照ください。

適用機種 HWC-H7001H(V)*	作成	照査	承認	JOB番号	品名	尺度
				納入先	空冷式熱源機 外形図	1
				客先	左記	**
	日付			東芝キヤリア株式会社		図面番号
						30UQA102-1
						頁 2 / 3
						改版 -

【据付】

- 注4. 熱源機の周囲および集合水配管との間には、図1の据付スペース以上確保してください。
- 注5. 雨水および機内結露水、水抜きの際の排水は、結露水排水孔からユニット下面へ排出されます。ただし、熱源機周辺が高温・高湿の環境で運転をすると、外装パネル表面および結露水受けのドレンパンの下にも結露が発生する場合がありますので、基礎面には防水処理を施し、排水された水が基礎面上に溜まらないように、また、周辺に拡がらないようにユニット周辺に排水溝、排水口等を設けてください。排水孔に、排水受け及び排水溝を施工する場合は、図2,3の施工例を参照してください。
- 注6. ゲタ基礎で熱源機を連結設置した場合には、熱源機周下部にサービス用の足場を設けてください。(幹旋別売部品の防振架台を使用する場合は不要です。)

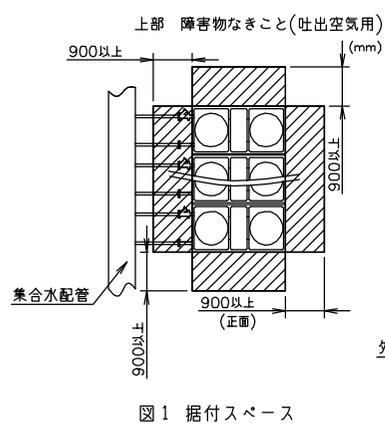


図1 据付スペース

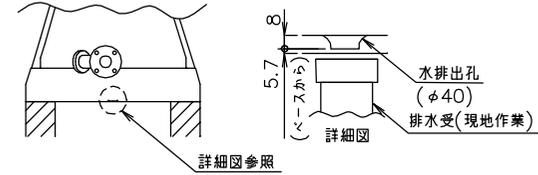


図2 ゲタ基礎の場合の排水受施工例

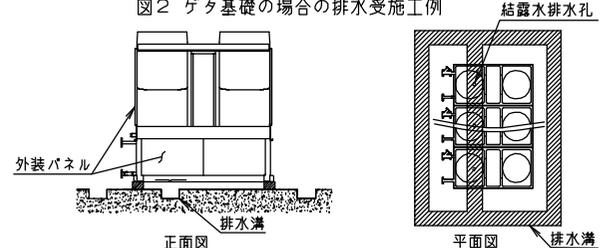
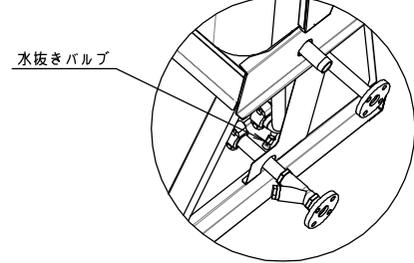


図3 ベタ基礎の場合の排水受施工例

- 注7. 熱源機が冬季季節風に直接さらされる条件下で運転を行なう場合は、空気側コイル面にウインドバッフル(強風遮へい板)を別途取り付ける必要があります。
- 注8. 冬季積雪がある地域では、防雪フードを別途取り付ける必要があります。
- 注9. 防振架台等を使用した場合にモジュール上部の衝突を防ぐため、連結金具(別売部品)を使用してください。

【水配管】

- 注10. 水熱交換器および水配管の凍結事故を防ぐ為、電源を落して長期間停止される場合は、必ず水配管を不凍液で満たすか、または、水抜きを行なってください。なお、水抜きバルブがモジュール内に1箇所ありますので、水抜きを行ってください。 図4 モジュール内水抜き箇所



- 注11. 集合水配管は、空気溜り防止及び水抜きを考慮して施工してください。また、出口側集合配管が地面または、入口配管と干渉しないように基礎の高さを考慮してください。
- 注12. 熱源機がシステムの最も高い位置になる場合には、各モジュールの水配管の高い位置に自動エア抜き弁(逆止機能付き)を設けてください。
- 注13. 水道法で定められた認可を受けていないため、直接、水道には接続せずシステムを設けるなどして対応してください。

【電気配線】

- 注14. 据付現場にて全モジュール据付後、各モジュール間の操作回路電線の接続が必要です。
- 注15. 製品下部のノックアウト孔を使用して電源配線を行なう場合は、基礎や鉄骨架台と干渉しないようご注意ください。
- 注16. モジュールコントロールはモジュール1台だけに内蔵されています。モジュールを複数台連結設置する際、モジュールコントロールには遠方発停回路等の現場配線が必要になる場合がありますので、現場配線を考慮した位置にモジュールコントロールを内蔵したモジュールを設置してください。

【納入範囲】

注17. 納入範囲一覧

項目	当社内	当社外	備考
熱源機本体	○		
モジュールコントロール(MC)	○		必須別売品となります。
冷凍・冷凍機油	○		出荷時に封入済みです。
ストレーナ	○		出荷時に本体組込済みです。現地での試運転後の清掃及び保温作業が必要です(当社外)。
工場から現場館側まで	○		車上渡しとなります。
搬入据付(※)		○	
据付け固定作業		○	アンカーボルト、座金、ナットは現地手配品となります。
各モジュールへの電源供給		○	各モジュール個別に電源を供給します。
各モジュールへの接地工事		○	各モジュール個別に接地工事をします。
(※)各モジュール間制御配線結合作業		○	
基礎工事		○	
湿水配管、排水管		○	モジュール本体に組込まれているストレーナの保温作業も必要です。
その他		○	
現地組立用電気、水		○	
現地試運転用電気、水		○	
出荷梱包材 残材処理		○	

(※): 電源配線キットを使用する場合には搬入据付、電気工事の納入範囲に変更がありますのでご注意ください。(詳しくは電源配線キット承諾資料を参照ください。)

【付属部品】

注18. 付属部品固定箇所一覧

部品名	固定場所
取扱説明書・据付説明書・保証書等	MCが取付けられているモジュールの主電源端子台付近
タッチアップポイント	MCが取付けられているモジュールの主電源端子台付近
連結金具	各モジュールの主電源端子台付近

適用機種 HWC-H7001H(V)*	作成	照査	承認	JOB番号 納入先 客先	品名 空冷式熱源機 外形図 左記	尺 1	度 **
	日付			東芝キヤリア株式会社	図番番号 30UQA102-1	頁 3 / 3	改版 -

ユニットコントローラ (UC)

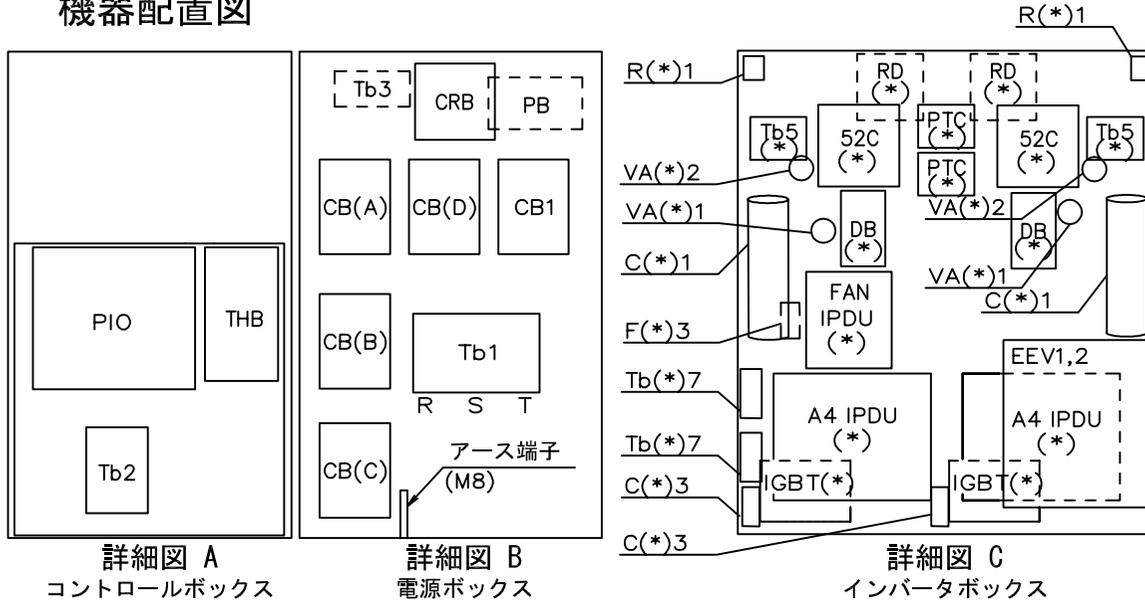
※：モジュールコントローラ(必須別売部品)につきましては、モジュールコントローラの承諾資料をご参照ください。
ポンプキットは別売部品です。

記号説明表

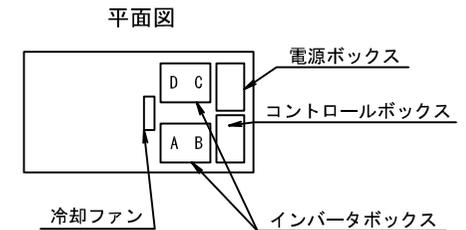
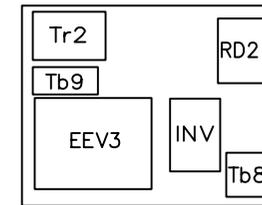
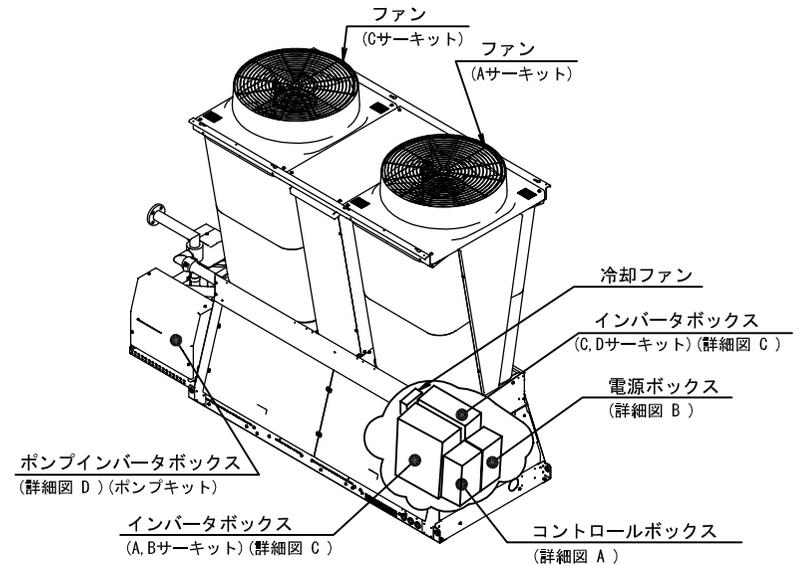
20SF(*)	四方弁コイル	ET(P)	水温センサ (入口(ポンプキット))	PMV(*)1,2	電子制御弁
20SW	三方弁コイル (ポンプキット)	F(*)3	ヒューズ (10A)	PSH(*)	圧力センサ (高圧圧力)
20SV(*)	二方弁コイル	FAN IPDU(*)	制御基板 (送風機)	PSL(*)	圧力センサ (低圧圧力)
52C(*)	電磁接触器	HF	コネクタ (通信線)	PTC(*)	PTCサーミスタ
63H(*)	高圧スイッチ (高圧圧力)	IGBT(*)	制御基板	R(*)1,2	抵抗
A4 IPDU(*)	制御基板 (圧縮機)	INV	ポンプインバータ (ポンプキット)	RD(*)1,2	リアクタ
C(*)1,2,3	コンデンサ	LT	水温センサ (出口)	SGT(*)	配管温度センサ (吸入ガス)
CB1, CB(*)	サーキットブレーカ	LQT(*)	配管温度センサ (液温)	TO	電流センサ
CGT(*)1,2	熱交温度センサ	MC(*)	圧縮機	Tb	ターミナルブロック
CH(*)	クランクケースヒータ	MFC	冷却ファン	TH(*)	ヒートシンク温度センサ
CN	コネクタ	MFO(*)	送風機用電動機	THB	雷サージ基板
CRB	制御基板	MP	ポンプモータ (ポンプキット)	Tr2	トランス
DB(*)	ダイオードブリッジ	MT	水温センサ (中間)	VA(*)	バリスタ
DGT(*)	配管温度センサ (吐出ガス)	OAT	外気温度センサ		
EEV1,2,3	制御基板 (EEV3のみポンプキット)	PB	電源基板		
ET	水温センサ (入口)	PIO	制御基板		

注：*印には“A”“B”“C”“D” (サーキット名)が入ります。
配管温度センサ(液温)は“B”“D”のみとなります。

機器配置図

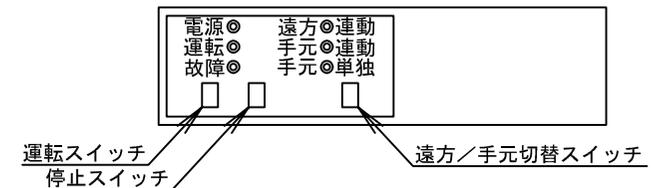


ボックス配置図

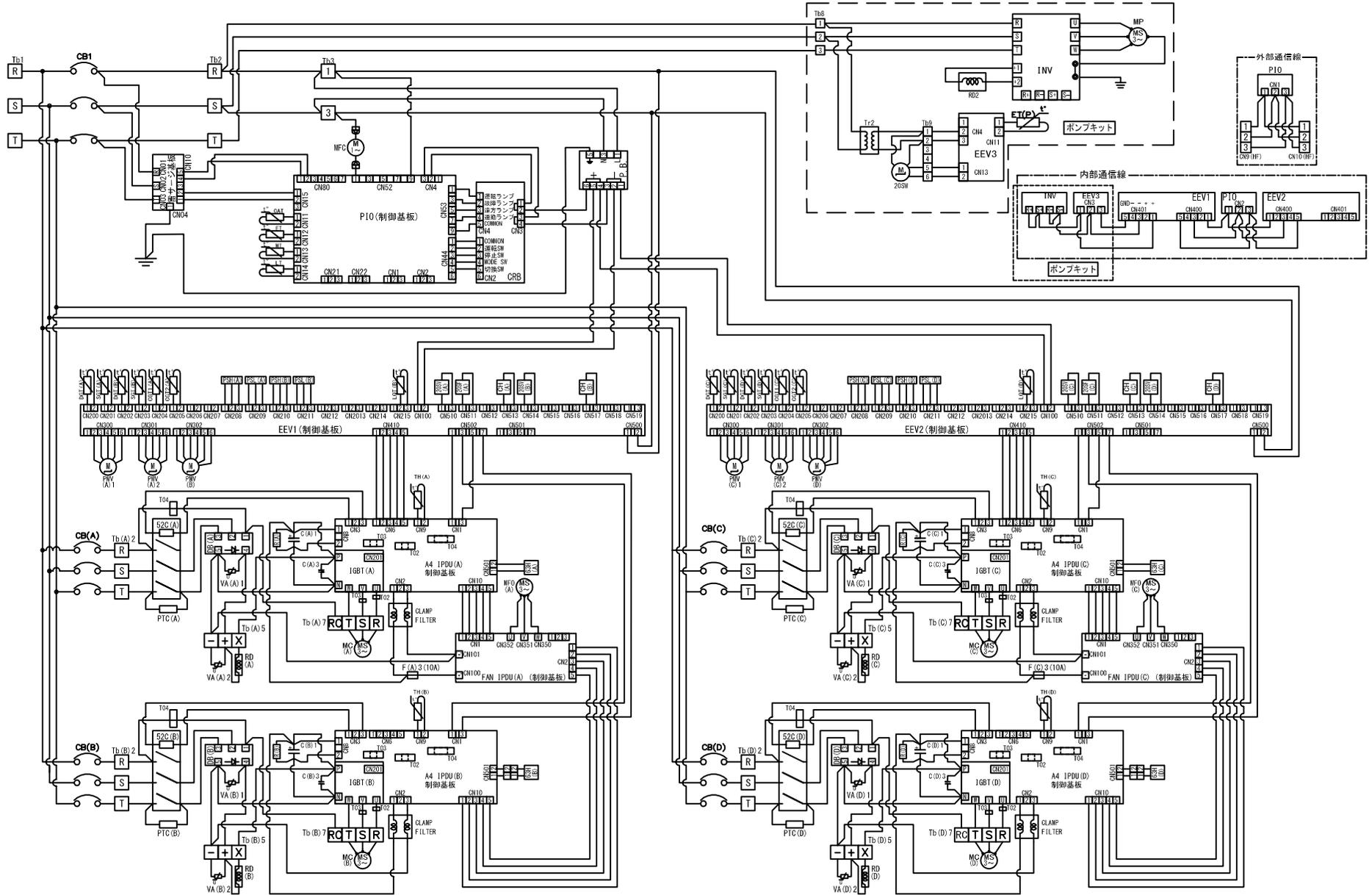


詳細図 D
ポンプインバータボックス
(ポンプキット)

ランプ・操作パネル(電源ボックス内)



適用機種	作成	照査	承認	JOB番号	品名	尺
HWC-H7001H				納入先	空冷式熱源機 電気配線図	1
	日付			客先	左記	**
				東芝キャリア株式会社	図面番号	版
					30UQA202-1	1 / 3



適用機種 HWC-H7001H	作成	照査	承認	JOB番号 納入先 客先	品名 空冷式熱源機 電気配線図 左記	尺 度 1 **
	日付			東芝キャリア株式会社	図面番号 30UQA202-1	頁 2 / 3
					改版 A	

- 注1. 電源配線は、右側面電源配線孔(図1)、もしくは底面電源配線孔(図2)を使用して配線することができます。
- 注2. 端子台のネジサイズ及び、トルク値は下表をご覧ください。
(25N・mを超えるトルクは絶対にかけないでください。端子台が破損する恐れがあります。)

適用機種	ネジサイズ	トルク値(推奨)
200V級仕様	M10	20N・m

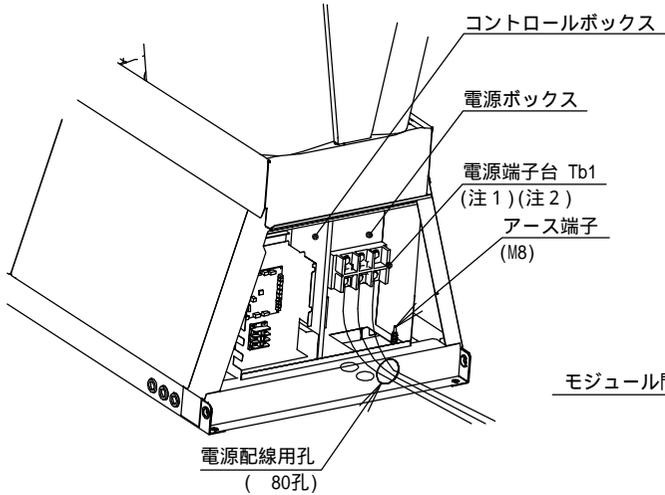


図1 電源線配線例(右側面電源配線孔使用)

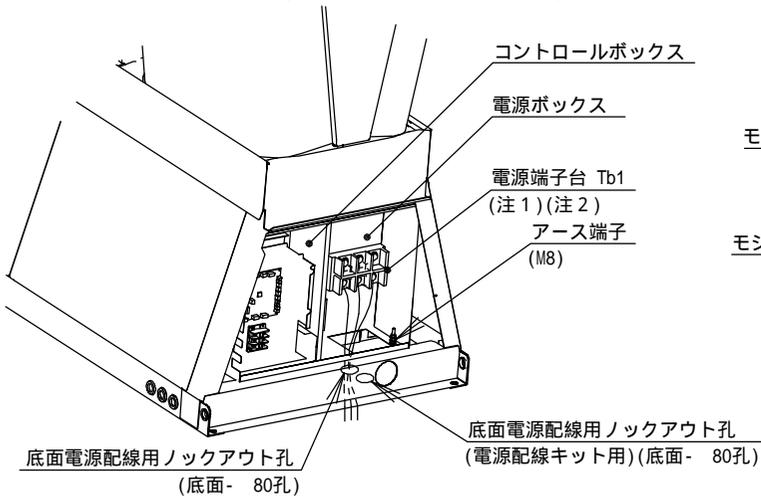


図2 電源線配線例(底面電源配線孔使用)

- 注3. 付属の配線を使用し、モジュール間の操作回路電線の接続を行ってください。(図3)その後、付属の操作回路電線配線カバーをモジュール間に取付けて下さい。(図4)
(モジュール間を最小寸法(下部モジュール間隔166mm)で連結設置していない場合には、付属の操作回路電線および配線カバーを使用することはできません。その場合にはモジュール間距離を考慮した電線および配線保護を手配し、施工してください。)

- 注4. 電源線や操作回路電線を通した電源配線孔は、水や粉塵などがモジュール内部に入らないように処理してください。

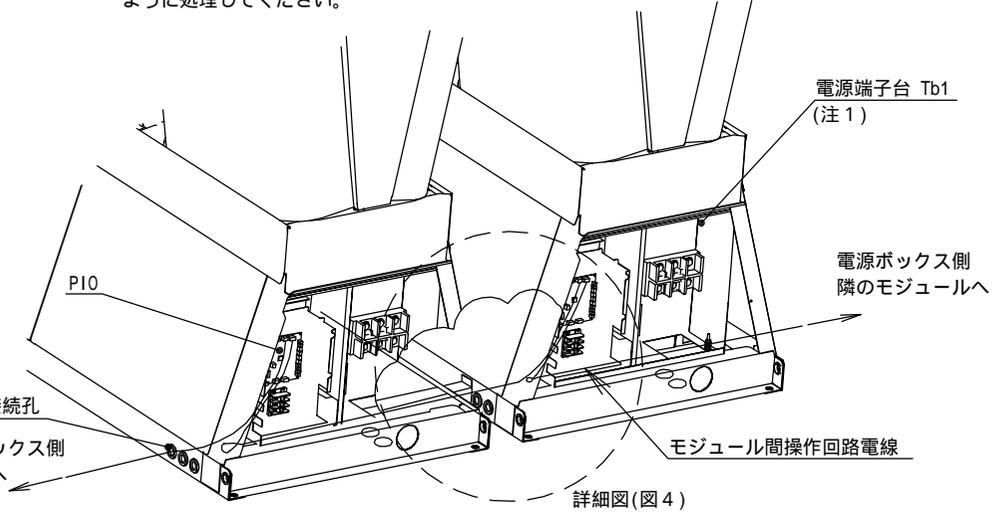


図3 モジュール間操作回路電線配線例

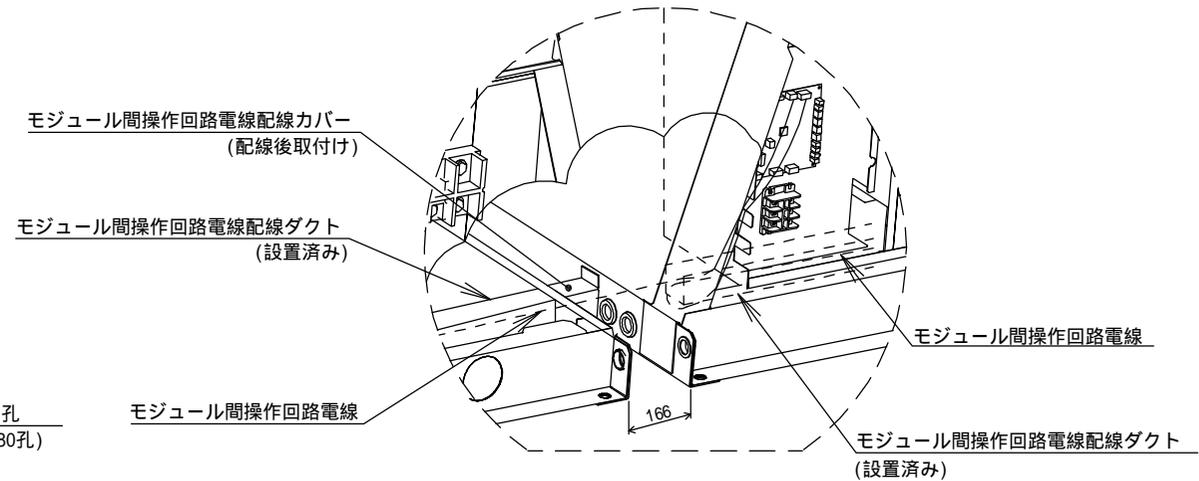


図4 詳細図

適用機種 HWC-H7001H	作成	照査	承認	JOB番号	品名	尺	1
				納入先	空冷式熱源機 電気配線図	度	**
				客先	左記		
	日付			東芝キャリア株式会社	図面番号	頁	改版
					30UQA202-1	3 / 3	-

モジュールコントローラ(必須別売部品)

- 概要**
- 1.負荷に応じて各モジュールに運転・停止の指示を行ってモジュール群制御を最適化します。
 - 2.外部入力や外部出力を行って機能を付加します。

仕様一覧

項目	製品規格
電源	AC24V(注1)
電源周波数	50/60Hz

注1 モジュールコントローラの電源はモジュール本体(200Vもしくは400V/440V)から供給されていますので別途電源供給する必要はありません。)

画面構成と機能概要

画面上の**や***には数値が表示されます。

メイン画面

現在の熱源機の運転状態が確認できます。運転・停止、手元・外部等の運転切換や系統毎のおおまかな運転情報を表示します。

メイン '12-08-18(土)10:33									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	運転状態					
系統	MC-A	UC数	**	運転	停止	故障履歴			
モード	設定	入口	出口	容量	故障				
加熱	***	***	***	***	***				
系統	---	UC数	---	運転	---	設定保守			
モード	設定	入口	出口	容量	故障				
---	---	---	---	---	---				

運転停止切換	遠方	確定	取消
--------	----	----	----

運転操作画面

モジュールコントローラの制御による運転・停止を操作できます。系統別に運転を許可・禁止することができます。

メイン '12-08-18(土)10:04									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	MCH運/停					
MCH運転切換				系A許/禁					
MCH運転	運転	停止		系B許/禁					
系統運転									
系統A	許可	禁止							
系統B	許可	禁止							

運転パターン切換画面

モジュールコントローラ設定項目選択画面で設定した運転パターンに切換えることができます。

メイン '12-08-18(土)10:05									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	1	2	3	4		
MCHパターン切換									
パターン	系統A	系統B							
1	加熱	停止							
2	停止	停止							
3	停止	停止							
4	停止	停止							

系統情報画面

各系統の運転情報(入口水温、出口水温、負荷側往水温度、熱源側往水・還水温度、故障コード等)を表示します。

系統情報 '12-08-06(木)17:40									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	系統切換					
系統	MC-A	UC台数	**	項目切換					
運転	停止	入口水温	****						
故障		出口水温	****						
モード	加熱	負荷側往水	----						
流量制御	Step	熱源側往水	----						
設定温度	****	熱源側往水	----						

ユニットコントローラ情報画面

各モジュールの運転情報(遠方/手元、運転・停止、故障コード等)を確認することができます。

ユニット情報 '12-08-18(土) 9:40									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	系統切換					
UC	1	2	3	4	項目切換				
系統	MC-A	MC-A	MC-A	MC-A					
故障					UC>				
遠/手	遠方	遠方	遠方	遠方					
運/停	停止	停止	停止	停止	サーキット情報				
モード	加熱	加熱	加熱	加熱					

サーキット情報画面

各モジュールのサーキット毎の詳細な運転情報を確認することができます。

サーキット情報 '12-08-18(土) 9:42									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	サーキット切換					
UC	1	サーキット	A	項目切換					
入口	****	PK熱出	----						
中間	****	三方弁	----	<UC					
出口	****	高圧	****						
PK入口	----	低圧	****	UC>					
PK熱入	----	凝縮温	****						

故障履歴表示画面

過去16件分の故障履歴を表示することができます。故障履歴では故障発生日時、故障コード、故障内容を表示します。

MCH故障履歴 '12-08-18(土) 9:52									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	前					
No.	発生日時	コード	内容	次					
1	01/01 11:11	04B65	冷媒不足異常	次					
2									
3									
4									

操作パターン切換画面

手元操作、外部操作、遠方操作の操作パターンの切換を行うことができます。

メイン '12-08-04(水)19:58									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	手元					
手元/外部/遠方切換				外部					
				遠方					

基本設定項目選択画面

モジュールコントローラの現在の日時設定、バックライトの設定、MMC(マルチメディアカード)への運転データの保存設定、パスワードの設定を行うことができます。

基本設定 '12-08-18(土) 9:59									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	▲					
No.	項目			▲					
1	日時設定			▲					
2	バックライト設定			V					
3	運転データ保存設定			V					
4	パスワード設定			V					

基本情報項目選択画面

お客様問合せ番号、ソフトウェア番号を表示します。

基本情報 '12-08-18(土)10:01									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	▲					
No.	項目			▲					
1	MCHソフト情報			▲					
				V					
				V					
				V					

モジュールコントローラ設定項目選択画面

モジュールコントローラの詳細設定を変更することができます。

MCH設定 '12-08-18(土)10:02									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	▲					
No.	項目			▲					
1	MCH運転パターン設定			▲					
2	GCパターン運動出力設定			V					
3	入出力設定			V					
				V					

モジュールコントローラ保守項目選択画面

入力ポートの入力状態、出力ポートの出力を確認できます。

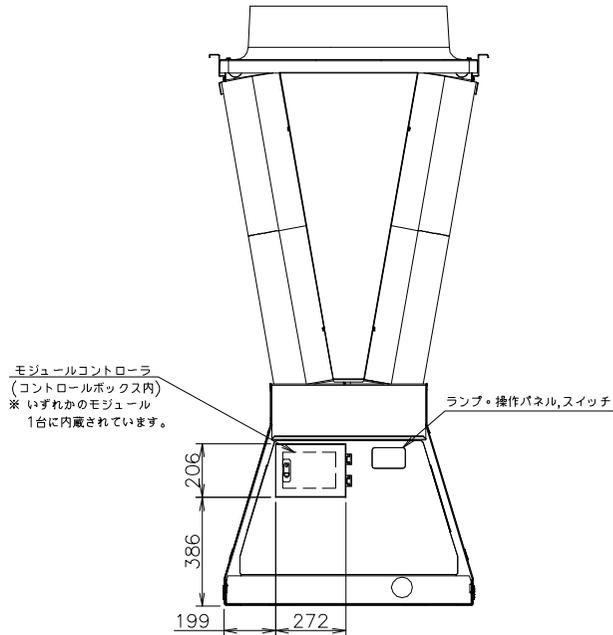
MCH保守 '12-08-29(水)15:24									
停止	手元	MCH ^o タンク1	加熱/停止	▲					
No.	項目			▲					
1	入出力チェック			▲					
2	ポンプ・三方弁チェック			V					
				V					

ユニットコントローラ設定画面

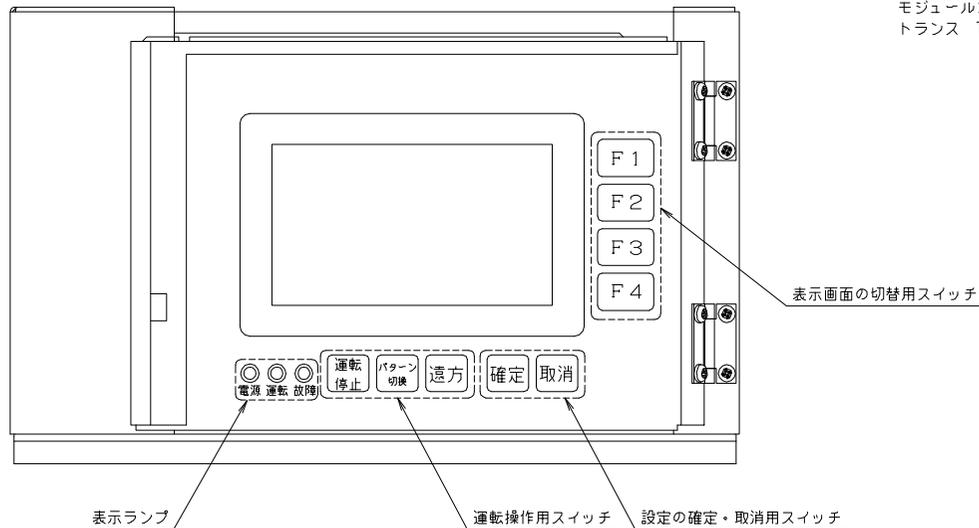
サービス用

適用機種	作成	照査	承認	JOB番号	品名	尺	1
HWC-H700シリーズ				納入先	モジュールコントローラ 外形図	度	**
				客先	左記		
	日付	東芝キャリア株式会社			図面番号	頁	改版
					30UQA402-2	1 / 5	-

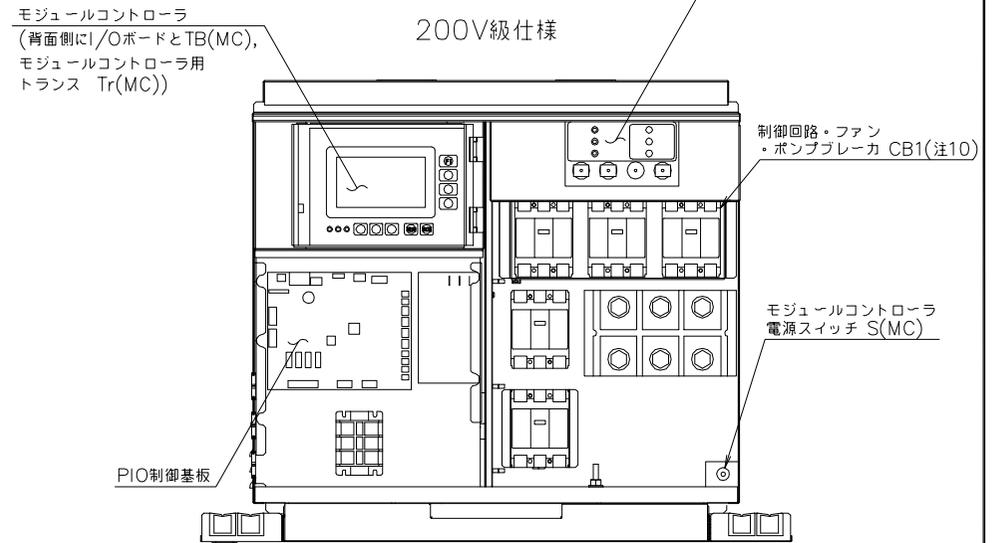
モジュールコントローラ配置図



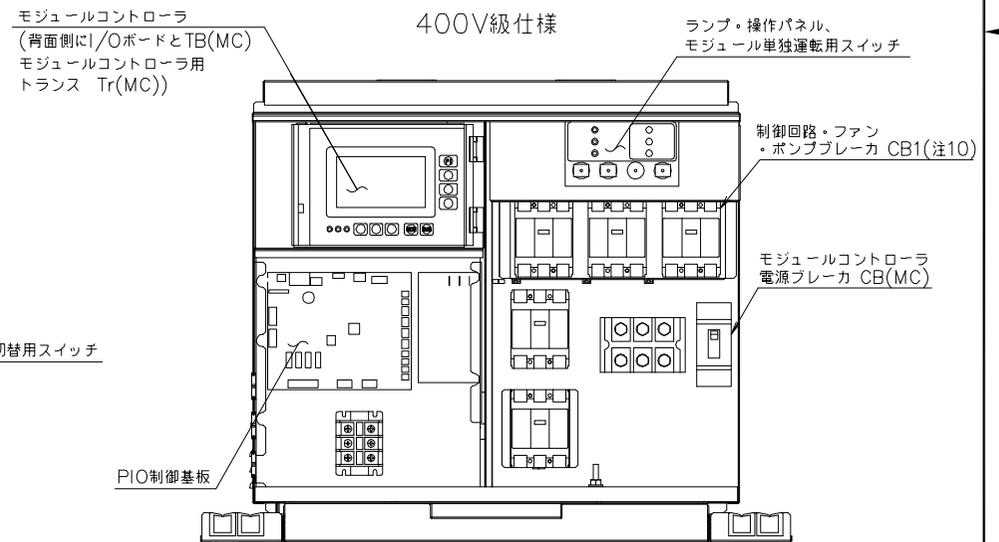
表示・操作パネル画面構成



機器配置図
200V級仕様



400V級仕様



適用機種	作成	照査	承認	JOB番号	品名	尺度	1	
HWC-H700シリーズ				納入先	モジュールコントローラ 外形図	度	**	
				客先	左記	頁	2 / 5	
	日付	東芝キャリア株式会社			図面番号	30UQA402-2	改版	-

入出力表

端子番号	名称	記号	入出力	設定区分	説明
アナログ入力(設定可能点数: 8)					
未設定	外部負荷側往水温度センサ	LST	入力電圧 DC0.6~3V (注2)	系統	外付けセンサを使用し、外付け温度制御用の負荷側往水温度を入力します
TB3(MC)6-7	外部設定温度	OST		系統	外部から設定温度を変更する場合に使用します
未設定	熱源側流量計	Q		系統	加熱能力算出用の熱源側流量を入力します(注3)
未設定	外部熱源側往水温度センサ	HST		系統	外付けセンサを使用し、加熱能力算出用の熱源側往水温度を入力します(注3)
未設定	外部熱源側還水温度センサ	HRT		系統	外付けセンサを使用し、加熱能力算出用の熱源側還水温度を入力します(注3)
デジタル入力(設定可能点数: 8)					
TB3(MC)2-TB2 2	運転/停止(メイク)	ON/OFF	無電圧α接点連続入力 (注4)	全体	外部メイク信号による運転/停止操作を行う場合に使用します(注5)
未設定	運転(パルス)	ON		全体	外部パルス信号による運転操作を行う場合に使用します
未設定	停止(パルス)	OFF		全体	外部パルス信号による停止操作を行う場合に使用します
未設定	系統別運転許可	SRP		系統	外部から系統別に運転/停止を行う場合に使用します
TB3(MC)2-TB2 5	デマンド	DM		系統	外部からデマンドを有効にする場合に使用します
TB3(MC)2-TB2 6	ポンプインターロック (モトメータ電機接触器)	88PB		系統	外部ポンプ等のポンプインターロック検出を有効にします
TB3(MC)2-TB2 14	運転パターン1	SS1		全体	外部から運転パターンを切換える場合に使用します
未設定	運転パターン2	SS2		全体	外部から運転パターンを切換える場合に使用します
TB3(MC)2-TB2 3	ヒータインターロック	HIL		系統	外部ヒータのインターロック検出を有効にします
未設定	停電復帰時間	-		系統	停電で停止した後、自動復帰を有効にする場合に使用します(注6)
アナログ出力(設定可能点数: 2)					
TB2 11-12	運転容量	CAP	出力電流 4~20mA	系統	瞬間運転容量(0~100%)を出力します
未設定	簡易能力	-		系統	瞬間能力(0~5000kW)を出力します(熱源側流量計と熱源側往水センサ、熱源側還水センサが必要です)
デジタル出力(設定可能点数: 8)					
TB1 1-10	運転	RL1	無電圧α接点連続出力	全体	いずれかの系統の運転時に出力します(容量制御による圧縮機停止時も出力します)
未設定	運転	RL2		系統	指定された系統の運転時に出力します(容量制御による圧縮機停止時も出力します)
TB1 2-11	重故障	OL1		系統	重故障発生時に出力します
TB1 3-12	軽故障	OL2		系統	軽故障発生時に出力します
TB1 4-13	ポンプ連動	88PB		系統	外部ポンプ等を連動運転する場合に使用します
未設定	パターン出力1	RP1		全体	運転パターンに基づき、出力します
未設定	パターン出力2	RP2		全体	運転パターンに基づき、出力します
未設定	パターン出力3	RP3		全体	運転パターンに基づき、出力します
未設定	遠方出力	-		全体	MC遠方時に出力します
未設定	外部出力	-		全体	MC外部時に出力します
未設定	パターン連動出力1	-		全体	MC、GCのパターン連動出力設定に基づき出力します
未設定	パターン連動出力2	-		全体	MC、GCのパターン連動出力設定に基づき出力します
未設定	ヒータ出力	-		系統	外部ヒータ通電時に出力します
TB1 6-14	運転準備出力	RA		系統	運転準備時に出力します
未設定	最大能力制限出力	-		系統	最大能力が制限されている場合に出力します
未設定	運転制限出力	-		系統	運転が制限されている場合に出力します

モジュールコントローラ内手元(外部)時における
運転及び停止スイッチ有効一覧

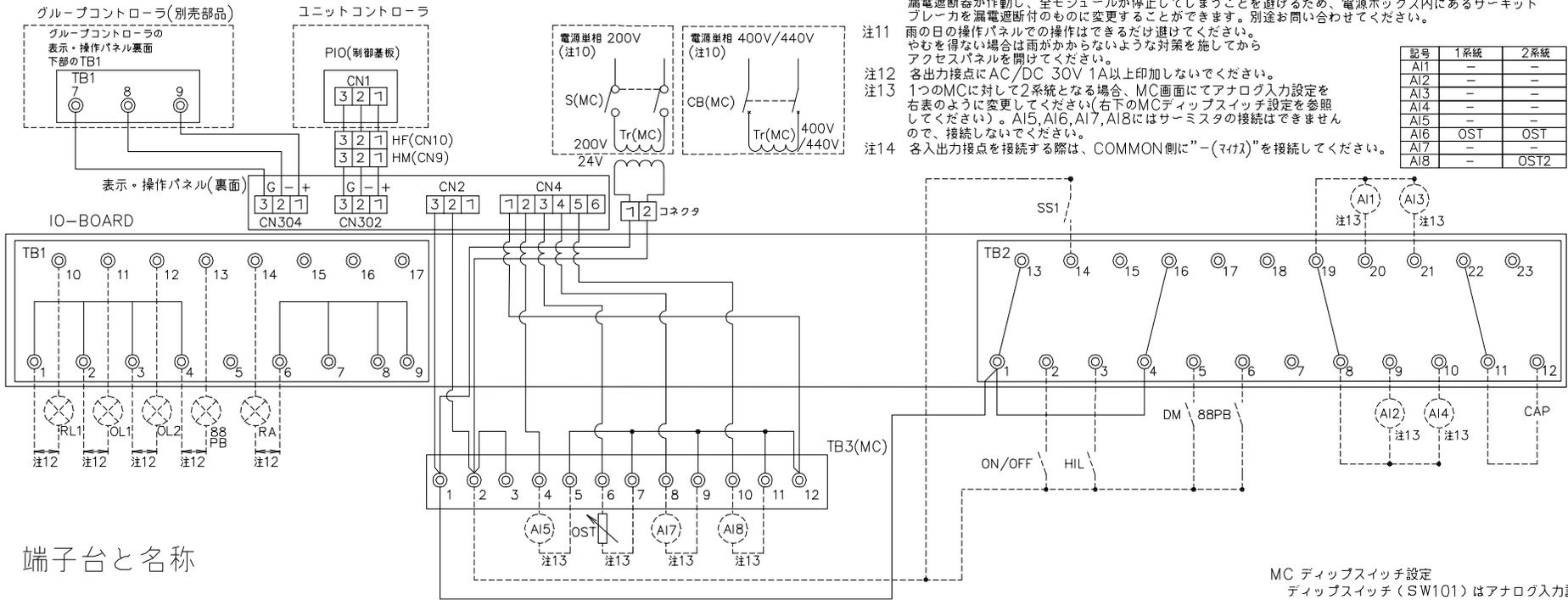
	手元時	外部時
操作パネル運転スイッチ	○	×
操作パネル停止スイッチ	○	○
外部運転信号	×	○
外部停止信号	×	○

○…有効, ×…無効

- 注2 アナログ入力信号が電流4~20mAの場合は150Ω±1%の金属膜抵抗(現地手配)を取付けてください。抵抗を取付けた場合の入力レンジスパンはDC0.6~3Vとなります。アナログ入力レンジスパンの設定はモジュールコントローラの入出力設定画面で変更することが可能です。モジュールコントローラのアナログ入力レンジスパンはDC0~3.3Vの範囲で設定ができます。
- 注3 加熱能力は熱源側流量計(現地手配)と外部熱源側往水・還水温度センサ(別売部品)を入力した場合に、画面に表示することができます。
- 注4 無電圧α接点入力端子には、有電圧を印加しないでください。
- 注5 現地での設定変更により、外部の運転/停止入力をパルス信号に変更することが可能です。パルス信号受け入力を使用する場合には、パルス幅は500msec以上としてください。
- 注6 停電自動復帰を使用する場合には、部品の追加が必要になります。使用する場合は別途お問い合わせください。
- 注7 アナログ入出力端子と接点入出力端子にはノイズ等が印加されないようにしてください。
- 注8 端子番号は工場出荷時の設定を表記しています。設定区分が系統の箇所は「系統A」を設定しています。
- 注9 左表に示した以外に、デジタル出力にデフロスト出力や凍結防止運転出力などの設定の追加をインデント対応で行うことができます。インデント対応が可能な設定については別途お問い合わせください。

適用機種	作成	照査	承認	JOB番号	品名	モジュールコントローラ 外形図	尺	1
HWC-H700シリーズ				納入先	左記		度	**
	日付	東芝キャリア株式会社			図面番号	30UQA402-2	頁	3 / 5
				客先			改版	-

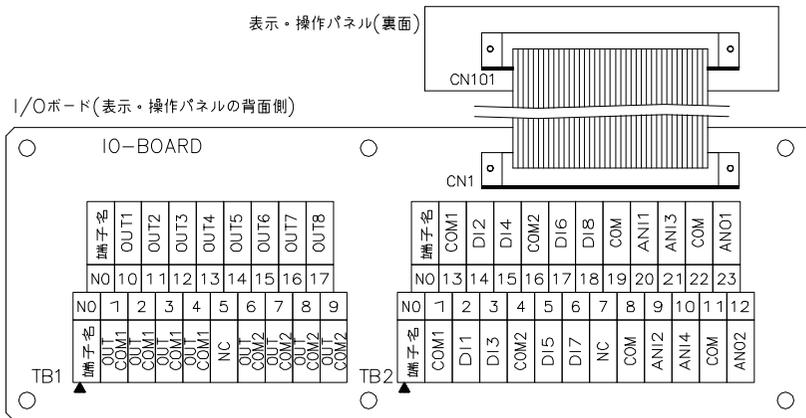
電気配線図



- 注10 モジュールコントローラの電源線は、モジュール本体の電源ボックス内の制御回路・ファン・ポンプブレーカ(CB1)の1次側に接続されています。使用時は以下の点に注意してください。サービス時などでCB1よりも上流にある現地ブレーカを切ると、モジュールコントローラの電源が切れて、全モジュールが停止しますのでご注意ください。万一あるモジュールに漏電が発生した場合、メインの漏電遮断器が作動し、全モジュールが停止してしまうことを避けるため、電源ボックス内にあるサーキットブレーカを漏電遮断付のものに変更することができます。別途お問い合わせください。
- 注11 雨の日の操作パネルでの操作はできるだけ避けてください。やむを得ない場合は雨がからまないような対策を施してからアクセスパネルを開けてください。
- 注12 各出力接点にAC/DC 30V 1A以上印加しないでください。
- 注13 1つのMCに対して2系統となる場合、MC画面にてアナログ入力設定を右表のように変更してください(右下のMCディップスイッチ設定を参照してください)。AI5, AI6, AI7, AI8にはサーミスタの接続はできませんので、接続しないでください。
- 注14 各入出力接点を接続する際は、COMMON側に”-(マイナス)”を接続してください。

記号	1系統	2系統
AI1	-	-
AI2	-	-
AI3	-	-
AI4	-	-
AI5	-	-
AI6	OST	OST
AI7	-	-
AI8	-	OST2

端子台と名称



記号説明表

記号	記号名称	記号	記号名称
88PB	ポンプインターロック(現地手配)	ON/OFF	運転/停止(マイク)(現地手配)
88PB	ポンプ連動(現地手配)	RA	運転準備中(現地手配)
CAP	運転容量(現地手配)	RL1	運転(現地手配)
CB	モジュールコントローラブレーカ	S	モジュールコントローラ電源スイッチ
CN	コネクタ	SS1	運転パターン1(現地手配)
DM	デマンド信号(現地手配)	TB	ターミナルブロック
HF	コネクタ(通信用)	Tr	トランス
HIL	ヒータインターロック(現地手配)	◎	ターミナル
HM	コネクタ(通信用)	—	盤内結線
OFF	停止(パルス)(現地手配)	====	盤外結線
OL1	重故障(現地手配)	-----	現場結線
OL2	軽故障(現地手配)		
ON	運転(パルス)(現地手配)		

MC ディップスイッチ設定
ディップスイッチ (SW101) はアナログ入力設定 (AI1~AI4) に対応しています。サーミスタ入力の場合は”ON”、電圧入力の場合は”OFF”と設定する必要があります。



MC 故障表示コード表

故障コード	故障内容
00002	ポンプインターロック異常
0001C	グループコントローラ通信異常
0001D	モジュールコントローラ通信異常
000E1	負荷側外付け水センサ異常
000E8	熱源側外付け水センサ異常
000E9	熱源側外付け水センサ異常
000EA	熱源側流量計異常
000EB	ヒータインターロック異常

適用機種 HWC-H700シリーズ	作成 照査 承認	JOB番号 納入先 客先	品名 モジュールコントローラ 外形図 左記	尺 1 度 **
	日付		図面番号 30UQA402-2	頁 4 / 5
東芝キャリア株式会社			改版 —	***** **

熱源機外部配線接続方法

温水ポンプインターロック等の熱源機外部配線(現地手配)の結線を行う際は、下記のように行ってください。

1. 外部操作回路用孔または底面外部操作回路用ロックアウト孔からコントロールボックスの左側面にある孔に外部配線を通してモジュールコントローラに結線してください(コントロールボックスの上から1番目と2番目の孔を使用してください。上から3番目の孔は使用しないでください(注15))。
2. 下表の通り、外部配線の端部に端子を取り付け、電気配線図に示すターミナル番号の位置に外部配線を接続してください。

モジュールコントローラ デジタル出力用端子台TB1に接続する外部配線	リング端子M3
モジュールコントローラ アナログ入出力・デジタル入力用端子台(TB2)に接続する外部配線	リング端子M3
モジュールコントローラ デジタル入力・アナログ入力用端子台(TB3(MC))に接続する外部配線	リング端子M3

3. 端子部に負荷がかからないように外部配線をリード線クランプで固定してください。
4. 操作回路電線を通した外部操作回路孔や外部操作回路用ロックアウト孔は、孔のエッジ保護および水や粉塵などがモジュール内部に入らないように処理してください。

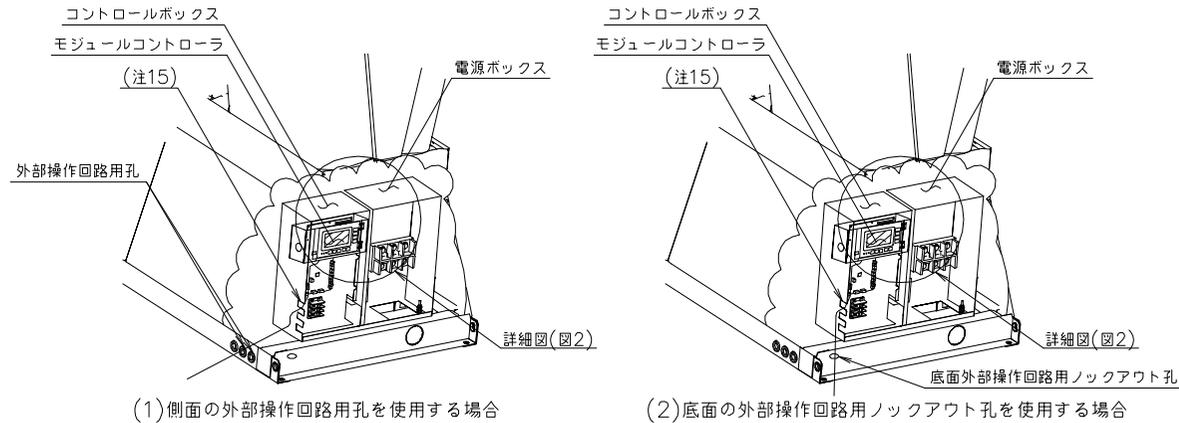


図1 熱源機外部配線接続例

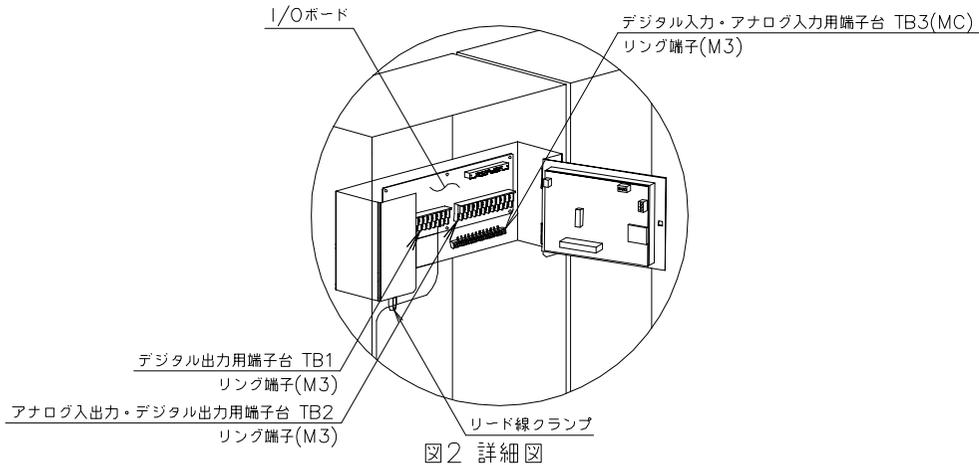


図2 詳細図

適用機種	作成	照査	承認	JOB番号	品名	尺度	
HWC-H700シリーズ				納入先	モジュールコントローラ 外形図	1	
				客先	左記	**	
	日付	東芝キャリア株式会社			図面番号	頁	改版
					30UQA402-2	5 / 5	-